おきよこた秀雄（ひでお）

PROFILE

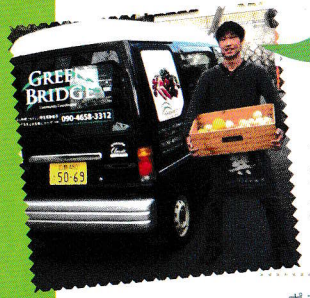
1977 年生まれ、37 歳。
己斐上小学校、己斐上中学校、広島県立広島観音高等学校、
山口短期大学(児童教育学科 初等教育学専攻)卒業。
2 児の父親、趣味はアウトドア、バスケットボール。
20代の時にオーストラリアに語学勉強へ、その後
幼稚園教諭として勤務。子どもたちとの関わりを通して「食」や「環境問題」に深く関心を持ち始める。

幼稚園教諭時代。男性がまだ少ない時代でした。

東南アジア、インドの孤児院やフリースクール巡りの旅のひとこま。

活動履歴

グリーンブリッジ green bridge



自分からできる社会変革に取り組むべく、野菜売りとして独立。命に優しい環境づくりをめざして精力的に活動してきました。

オーガニック食材の移動販売事業。
食・エネルギーについての勉強会、
地域活性化イベントの企画。

市民団体「poco a poco（ポコアポコ）〜あったか未来を つくる会〜」

子どもたちのより良い環境づくりのための署名運動、上映会の企画

市民団体「from grassroots hiroshima（フロム グラス ルーツ ヒロシマ）」

リユース食器の普及、ゴミ拾いなど、環境問題の啓発活動

アースデイひろしま実行委員会
「アースデイひろしま 2013・2014」企画運営

政治を、まちづくりを、もっと身近に。カジュアルに。

どうせ投票しても変わらない。
政治は堅苦しい世界…。
私もそう思っていました。

しかし、限られた選択肢に投票するだけが
政治に参加する方法ではありません。
想いと覚悟があれば、
誰でも立候補、チャレンジできるのです。

学歴も地盤もお金もない、
一介の野菜売り、二児の父親の私ですが、
**地元広島のまち、次の世代のために、
まちづくりの架け橋役にチャレンジします。**

今の政治、まちづくりに欠けているのは
「あたりまえ」の考え方。
商売をしている人の「あたりまえ」…
生活やお金のやりくりをなんとかしていく工夫。
育児をしている人の「あたりまえ」…
子どもたちの食や環境づくりへの気持ち。
そんな「あたりまえ」が通用しない政治、
だから興味のない世界に見えてしまうのでは
ないでしょうか。

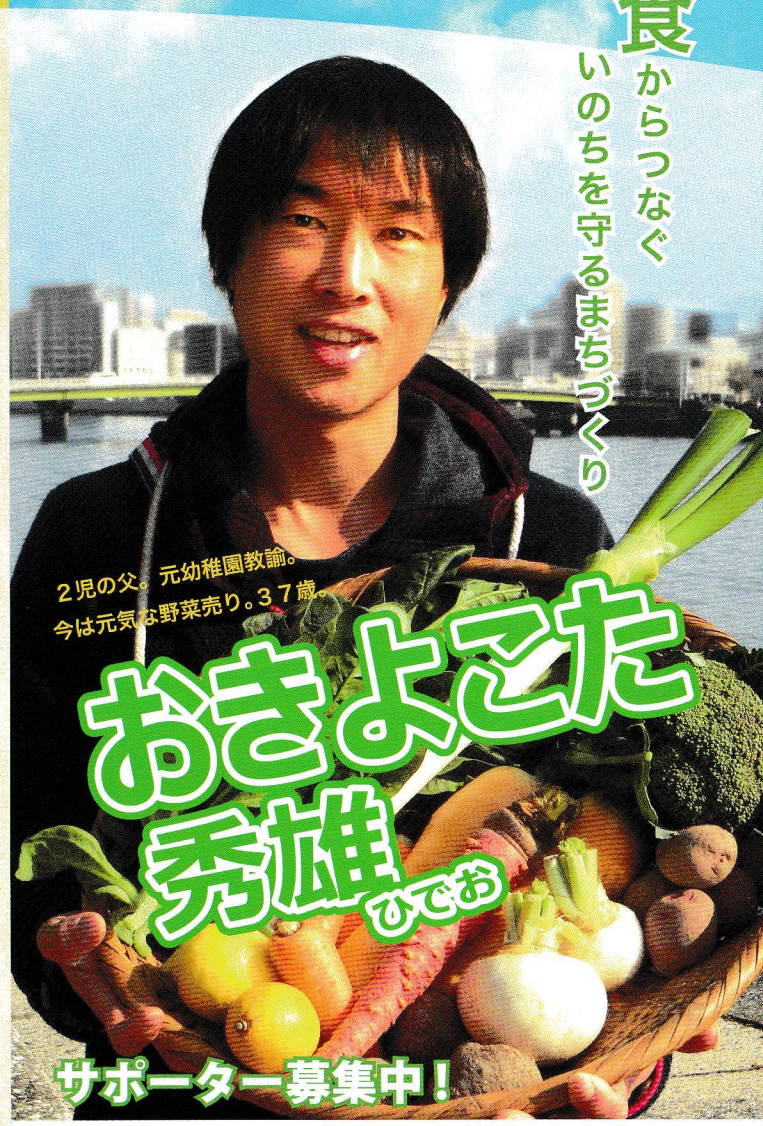
お願いします。

**皆さんの力を貸してください。
一緒に大きな壁に
小さな風穴を開けさせてください。**

自分の一番の使命は
これから声をあげる人たちの
小さな希望になることです。

沖横田 秀雄

【討議資料 後援会しおり】



食からつなぐ
いのちを守るまちづくり

2児の父。元幼稚園教諭。
今は元気な野菜売り。37歳。

おきよこた秀雄（ひでお）

サポーター募集中！

ホームページ http://okiyokota.com/

おきよこた秀雄と広島まちづくりチーム
TEL: 090-4658-3312
Mail: okiyokotahideo@gmail.com
facebook で検索！
住所：〒733-0815 広島市西区己斐上 3-13-1
カンパ口座：ゆうちょ銀行　15130-41970321
名義：オキヨコタヒデオトヒロシママチヅクリチーム
（個人のカンパでお願いします）

おきよこた秀雄（ひでお）は、こんなことをしたい！

田舎と都会ををつなぐ架け橋

新規就農支援
農業体験ツアー
有機農業の推進

こだわり農家、ようけ知っとるけえ〜！

もっともっと！

給食はやっぱり
地元ひろしま産

出産・育児がしやすいまち NO.1をめざそう！

育児サポート
待機児童ゼロ
男性の育児休暇の推進

みんなのアイデア、フル活用しよう！

議会傍聴ツアーで
まちづくりを
もっと身近に！

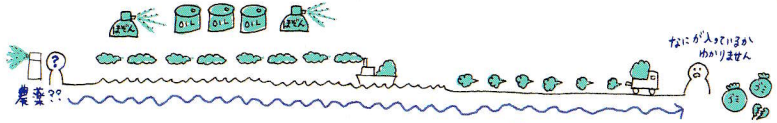
やってみようよ！

脱原発に向けて
エネルギーモデル事業

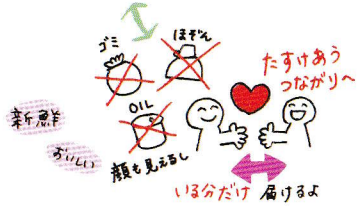
ていねいに、ていねいに。

食の安全性を追求する
仕組みづくり
放射能測定所の設立
食の安全性を考える勉強会

食の安全性の見直し



なによりも取り組みたいのは、
生活の一番身近にあって、体、命をつくる食のこと。
農薬、添加物、遺伝子組み換え、放射能汚染に関する
食の安全性を見直すシステムづくり。

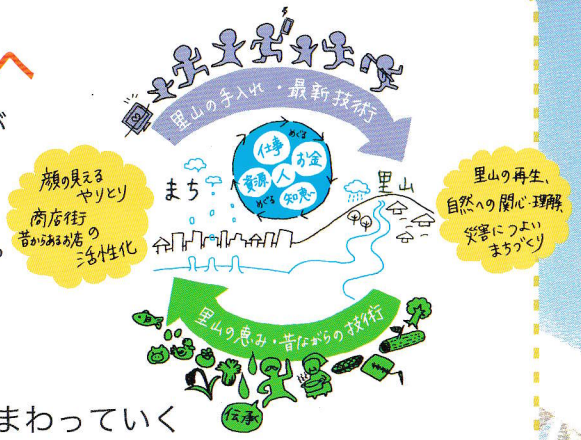


未来を担う子どもたちのために、安全な食材、給食を提供できるまちを目指します。
また、地元広島の生産者を応援し、地産地消を拡大します。

政治、まちづくりをもっと身近に

政治、選挙は堅苦しい、遠い世界のものと思われがち。
けれど、みんなの生活や地域、そして次の世代に手渡す未来のことを考え
方向性を決めていく大切な場で、本来一番オープンであるべきもの。
無関心を生む不透明な場から、市民の主体性が活きる熱い場に変えていきます。

人ともの、自然の恵みが循環するまちへ



まちと里山が近い広島の特徴を活かし、まちと農村部が
一体となって、資源の宝庫である里山の再生、
あるものを活かしたものづくりの継承に取り組みます。
豊かに再生された里山からは、海にも恵みが。
同時に、災害に強いまちづくりも進みます。
食だけでなく、お金、エネルギーもなるべく地域の中でまわっていく
循環型のまちづくりのモデルを広島から目指します。